

# ティンクルなごや通信

ティンクル音楽祭～つなぐ音プロジェクト～ .....	1
日中活動紹介 .....	2-3
熊本地震を経験した施設としてできること 支援者向け研修の報告 .....	4

名古屋市重症心身障害児者施設  
**ティンクルなごや**  
指定管理者 社会福祉法人むつみ福祉会  
名古屋北区平手町1丁目1番地の5  
TEL: 052-916-0333

**第13号**  
2023年1月

## ティンクル音楽祭 ～つなぐ音プロジェクト～

今年度のティンクルまつりは、今までと発想を変え、「ティンクル音楽祭～つなぐ音プロジェクト～」と題し、利用者さんがユニットごとに演奏した曲、ご家族様・スタッフで演奏した曲を1つの映像としてつなぐ、“利用者さん・ご家族様・スタッフ”皆で作る音楽祭を企画しました。

演奏する曲目や方法、演出等は各フロアの行事委員会を中心に検討し、「パプリカ」「にじ」「むしのこえ」「上を向いて歩こう」「小さな世界」「聖者の行進」「笑点のテーマ」「星に願いを」の全8曲で構成しました。ユニットごとにハロウィンの小物で仮装したり、バンダナや蝶ネクタイをおそろいで身につけたりと、衣装や演出にもこだわりました。

演奏では、十八番の歌をスタッフと一緒に張り切って歌っている利用者さんの姿、利用者さん本人が音をならすのをじっくり待って曲を作るスタッフの姿と利用者さんの個性が光りました。「いいよいいよ」「上手い上手い」等の声掛けや、利用者さんと視線を合わせて一緒に演奏する様子等、フロアの雰囲気や支援の様子を感じていただけたのではないのでしょうか。ご家族様にも笑顔でご協力いただき、スタッフもとても楽しく撮影させていただきました。

今回の撮影には、今年度、保護者会より寄贈いただいた楽器やタブレットを早速使わせていただき、新しい試

み・慣れない編集作業に悪戦苦闘しつつ、ティンクルなごやに関わるたくさんの人の音をつなぎ、素敵な音楽ができてきました。

完成した映像は、利用者さんには秋模様に装飾した特製スヌーズレン室で、ご家族様にはYouTubeへの限定公開や面会時に施設のモニターでご視聴いただきました。新型コロナウイルス感染対策・面会制限が長期化し、ご家族間、病棟間、スタッフ間で顔を合わせることが少ない今日この頃、“ご家族との交流”“一緒に作る”ということにこだわって企画を検討してきました。

演奏を通じて、映像の視聴を通して、画面に映るご家族や他のフロアの利用者さんと顔を合わせ、「懐かしいね」「〇〇君だ、元気そうだね」等、目を細めて嬉しそうな表情で鑑賞していただく姿をみることができ、大変嬉しく思いました。

新型コロナウイルスが一日も早く収束し、自由に面会等していただける日が来ることを願うとともに、今後も、ご家族様とのつながりを大切に、少しでも利用者さんの生活の様子を発信し、安心していただけるような機会をつくっていかれたらと思います。

※「ティンクル音楽祭」の映像は、施設ホームページ（もしくは右のQRコードを読み取って下さい）よりご視聴いただけます。



2022年度 行事委員会／若井（診療部）、山田・飯星（2階）、黒田・内山（3東）、大江・小淵（3西）、小幡・竹内・栗田（総務部）



## 忘れられない思い出づくりをいっしょに

日中活動で花火体験に挑戦しました。残念ながら夏の夜に開催できませんでしたが、「季節外れでも利用者さんたちに花火を体験していただきたい」という3階西フロアのスタッフ全員の思いで、秋の夜長のちょうどあたりが暗くなり始める時間での開催になりました。

夕方17時頃、日が落ち始めてスタッフが忙しく準備をしていると、「なにか始まるのかな」となんだか不思議そうな表情で眺めていた利用者さんたち。花火がパチパチと音を立てながら火花を散らし始め、あのツーンとするような煙の独特な香りが場内に立ちこめると、普段は穏やかに過ごされている利用者さんたちもハッとした表情をされたり、花火の方を見つめてうっとりされたり、ただただ嬉しくて笑顔で大興奮さ

れるなど、利用者さんそれぞれがほんとうに楽しそうな表情をされていました。利用者さんたちの表情の変化や普段と違った反応に、「こんな表情初めて見ました」「こんなに喜んでもらえて嬉しいです」と、スタッフもいっしょになって楽しい時間を過ごしました。

日中活動は利用者さんたちがめまぐるしい毎日をご過ごしていく中で、たくさんある出来事のうちのほんの短い時間の体験になりますが、この体験が思い出という形で利用者さんの中にいつまでも心に残っていただけたら……。スタッフ一同、そんな思いを胸に、利用者さんたちの日々の日中活動を支援していきたいと思っています。

植松 瞳 (3階西 生活支援員)



## 整容のお手伝い ～身だしなみを整えて、気持ちよい毎日を～

毎日の顔拭きや髭剃り、毎週の爪切りといった「整容」の様子をご紹介します。

朝6時に起床して髭剃りを行います。今日の天気や外の様子などを話しかけながら、髭剃りをすると、うれしそうにしてくださる利用者さんもいらっしゃいます。

スタッフが用意した温かい蒸しタオルで、目元や、口まわりを注意しながら優しく顔を拭くと気持ち良さそうな表情をされます。

爪切りもお手伝いします。先端が丸まっているかなど、爪の形状を考えて、爪切りではなく、電動やすりを使用することがあります。力が入ってしまう方や、

体動のある方などに電動やすりを使用するときは、リラックスしていただいて爪を整えるようにしています。手の爪から足の爪の順で、声かけをしながら整えています。

写真は、面会前に髪を整える利用者さんです。ご家族からお預かりしている髪飾りをつけて結ぶ方もいらっしゃいます。ご家族に会える貴重な時間を過ごす前に、きれいに整え直します。

利用者さんが日々の生活を素敵に過ごせるように、身だしなみにも気を遣っています。

村田 涼祐 (3階東 生活支援員)

## 歓声のあがった運動会

10月10日、スポーツの日に運動会をしました。選手宣誓のあと、この日は2つの競技が行われました。

1競技目は、風船送り競争です。紅組と白組に分かれて、どちらのチームが早く風船を送ることができるか、3回競いました。結果は、2-1で紅組の勝ち。風船があちこちに飛び、多くの歓声があがりました。

2競技目は、かけっこです。青いビニールひもで作られたゴールを目指します。ゴールテープはのれんになっており、のれんをくぐるようにゴールすると、ど

の利用者さんも表情がとても明るくなりました。リクエストもあり、何度もゴールする利用者さんもいらっしゃいました。

いつもは穏やかに過ごしている利用者さんも、この日は、普段と異なる賑やかな雰囲気を感じながら楽しむことができました。次回も、趣向を凝らした楽しい運動会をしたいと思います。

黒谷 裕美 (2階 看護師)



支援者向け研修の報告

熊本地震を経験した施設としてできること

近年、地震や集中豪雨など大きな被害をもたらす自然災害が頻発しています。大規模災害が起こる前、平常時こそ災害について考える機会を設けたいと考え、今年度のティンクルなごや支援者向け研修は「地震・水害等大規模災害への備え」というテーマでの開催を企画しました。

平成28年4月、最大震度7を記録した熊本地震。最も被害の大きかった益城町と隣接した土地に建つ「くまもと江津湖療育医療センター」は、新規入所の受け入れ開始から2週間で熊本地震に襲われたそうです。その地震で被災された経験から考えられる災害対策や重症心身障害児(者)支援について、地域連携教育センター課長土屋さおり先生(看護師・社会福祉士)にお話しいただきました。

研修は、令和4年10月7日(金)14時から1時間程度、ティンクルなごや多目的室を会場に、Zoomを利用して熊本と名古屋をオンラインで結び、土屋先生にはリアルタイムでご講話いただきました。

この研修内容を録画・編集後、オンライン研修として県内の関係施設等にご案内し、お申込みいただいた方にYouTubeを用いた限定配信を実施しました。また、当日受講でき

なかったティンクルなごやのスタッフもオンライン研修として視聴しました。

今回の研修では、リアルなお話を聞くことにより、災害について具体的にイメージをすることができ、一職員として、一個人として日頃からどのようなことへ意識を向けるべきなのかを考える良いきっかけとなりました。今後、施設の防災・減災対策充実にも活かしていきます。受講した方からは「経験に基づき、対策の改善、職員の継続的な教育に取り組まれていることに刺激を受けた」といった感想をいただきました。今後も有益な研修を企画したいと思います。

竹内 真由美(相談員)

Part 1

くまもと江津湖療育医療センターの概要  
平成28年4月熊本地震の概要と被害状況  
熊本地震後の対応

Part 2

令和2年7月豪雨の概要と水害対策  
災害時および災害時に備えた研究  
今後の災害対策として必要なこと

熊本地震を経験した施設としてできること



■公共交通機関でお越しの方

- 栄より/市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車
- 名古屋駅より/市バス名駅13系統「又穂住宅東」  
/市バス名駅15系統「城見通二丁目」または「西部医療センター」下車

■お車でのお越しの方 「黒川」出口から約10分です。



名古屋市重症心身障害児者施設 〒462-0057  
名古屋市中区平手町1丁目1番地の5  
TEL: 052-916-0333  
〔指定管理者〕社会福祉法人 むつみ福祉会 FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<https://twinkle-nagoya.com>



公益財団法人 名古屋市障害児者施設